



「人・地球・環境」への貢献

2016年3月期 第1四半期 決算説明資料

自 2015年4月1日
至 2015年6月30日



千葉県で工事中のアスファルトプラント
NAP・ABD-2000CBN+NRU・α90-100AF



NIKKO Group

2016年3月期 第1四半期 決算説明資料

- ▶ 3P…決算実績サマリー
- ▶ 4P…財政状態の分析
- ▶ 5～8P…連結業績の詳細
- ▶ 9P…株主還元配当金【過去10ヵ年】



千葉県で工事中のアスファルトプラント
NAP・ABD-2000CBN+NRU・α90-100AF

2016年3月期 第1四半期 決算実績サマリー

(百万円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	増減	<u>決算のポイント</u> <u>(前年同期比)</u>	
売上高	5,625	6,781	+1,156		【売上高】 アスファルト関連事業は前期の繰り越し案件もあり、前期比+9億。コンクリート関連事業は大型案件があり、前期比+3億。
営業利益	284	11	▲ 272		【営業利益】 各セグメントともに外注費等のコスト増を吸収できずに減益。
経常利益	237	126	▲ 110		【経常利益】 持分法投資損失がなくなり、営業外損益で+115百万を計上。
当期純利益	101	1,188	+1,087		【当期純利益】 ベニングホーヘン社の持分20%売却により特別利益1,874百万を計上。
受注残高 (当期末残高)	10,008	11,415	+1,407		【受注残高】 アスファルト関連事業は案件の小型化により、期中の受注額は前年を下回ったが、コンクリート関連事業はユーザーの設備投資意欲が引き続き旺盛で受注残高は増加。

2016年3月期 第1四半期 【連結】財政状態の分析

(単位:百万円)

連結貸借対照表		2015年3月期	2016年3月期 第1四半期	増減	主な変動要因
資産	流動資産	26,690	27,722	+1,032	現金及び預金+1054 受取手形及び売掛金▲352 たな卸資産+877 有価証券▲301 その他▲178
	有形固定資産	4,294	4,584	+290	有形固定資産+290 投資有価証券+590
	無形固定資産	338	340	+2	出資金▲737
	投資その他	10,641	10,446	▲195	
総資産合計		41,964	43,094	+1,130	
負債	流動負債	11,266	10,942	▲324	支払手形及び買掛金▲537 未払法人税等+469
	固定負債	2,852	3,014	+161	賞与引当金▲276 その他+226
純資産合計		27,845	29,138	+1,293	四半期純利益+1188 その他投資有価証券評価差額金+263 配当金▲209
自己資本比率(%)		66.4	67.6	+1.3	
D/Eレシオ(倍)		0.09	0.08	-	
1株当たり純資産(円 銭)		664.35	695.24	+30.89	

アスファルトプラント関連事業

●セグメントの概要

アスファルトプラントの製造・販売。販売先は主に国内の大手道路会社、及び海外各地区道路会社等。アスファルトプラントのメンテナンスサービス。



【アスファルトプラント/群馬県】
ミキサ配置を、新材プラント、リサイクルプラントの中間に配置し、リサイクル材の搬送ルートをも最小限にして、外部への臭気の拡散対策、メンテナンス性を向上させた、これからのリサイクル材主体の生産体制にマッチした、当社の次世代主力アスファルトプラントです。



【アスファルトプラント/ASEAN】
ASEAN向けに輸出したアスファルトプラントです。近年、海外向けに開発したアスファルトプラント「CBDシリーズ」の輸出が増加しています。

●製品・サービスともに売上は前期を上回るが利益率が悪化

製品は前期の持越し案件もあり売上伸びるが利益率は悪化。サービスは前期が消費増税後の落ち込みがあったことから前期を上回る売上を計上。海外向けは前期比増。

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	前期比
売上高	2,334	3,252	+918 (+39.4%)
構成比率	41.5%	48.0%	+6.5%
営業利益	197	105	▲91 (▲46.5%)
営業利益率	8.4%	3.2%	▲5.2%

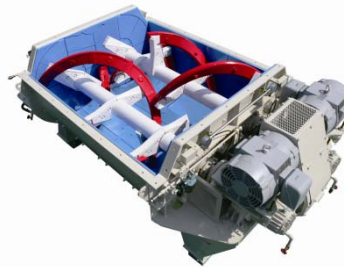
連結業績の詳細 コンクリートプラント関連事業

●セグメントの概要

コンクリートプラント及びコンクリートポンプ車の製造販売。販売先は主に国内の生コン工場。コンクリートプラントのメンテナンスサービス。



【コンクリートプラント
 /富山県富山市
 製品品質アップ、環境にも配慮し新設した「DASH-200Nミキサ」搭載のプレキャストコンクリート製品プラントです。



DASH-200Nミキサ

【コンクリートポンプ車】
 ミキサー車で運搬された生コンクリートを油圧により、パイプとホースを通じて型わくに流し込む作業車です。高強度コンクリートをはじめ様々なコンクリートを力強く圧送します。その性能は高い評価を得ております。



●製品・サービスともに売上は前期を上回るが利益率が悪化

製品は大型案件があったことから前期を上回る売上を計上。サービスは売上は伸びるもコスト増を価格に転嫁できず利益率が悪化。ただ足元の顧客の引き合いは強く、引き続き前期を上回る水準で受注獲得。受注残高は昨年同時期の2倍超。

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	前期比
売上高	1,764	2,088	+323 (+18.3%)
構成比率	31.4%	30.8%	▲ 0.6%
営業利益	203	55	▲ 148 (▲ 72.8%)
営業利益率	11.5%	2.6%	▲ 8.9%

連結業績の詳細 環境及び搬送関連事業

●セグメントの概要

ベルトコンベヤの製造・販売。空き缶・ペットボトル選別装置等の環境関連製品の製造・販売。



【Ⅱ型無水石膏製造装置1号機】

Ⅱ型無水石膏は、リサイクル石膏(二水石膏)をロータリーキルンで900~1,000℃の温度領域で約1時間加熱処理することにより製造されます。Ⅱ型無水石膏は、空気中の湿気を吸収し難く長期に渡る貯蔵が可能となることから、セメントの凝結遅延剤やセメント系固化材としての有効利用が始まっています。



【バイオマス発電向け木材チップ乾燥装置1号機】

これは、間伐材等の林地残材から製造した高含水比の木材チップをバイオマス発電で燃焼可能な含水比にまで乾燥させる装置です。本装置では、バイオマス発電の燃料には適さないパーク(樹皮)をロータリーキルンで自立燃焼させて木材チップ乾燥の熱源として有効利用しています。

●搬送関係は前年を下回る

搬送製品は建設・土木事業案件が減少したために売上が減少。

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	前期比
売上高	503	444	▲58 (▲11.6%)
構成比率	8.9%	6.5%	▲2.4%
営業利益	84	44	▲39 (▲46.7%)
営業利益率	16.7%	9.9%	▲6.8%

連結業績の詳細 その他事業

●セグメントの概要

仮設機材、ショベル等土農工具、水門、破碎機等の製造・販売。



【傾斜用安全昇降システム】

連結子会社 日エセック㈱

アルミ自在階段「ラク2タラップ」は、災害復旧事業の工事用通路、津波対策避難通路など、安全機材として、全国で採用されております。又H26年度国土交通省新技術システム、NETISの「推奨技術」に選定されました。



【ダブルロール破碎機】

連結子会社 ㈱前川工業所

廃コンクリート・廃アスファルトなどの大塊を破碎できる再生砕石用破碎機です。破碎された廃コンクリート等は、省資源・環境循環のため再生合材として利用されます。

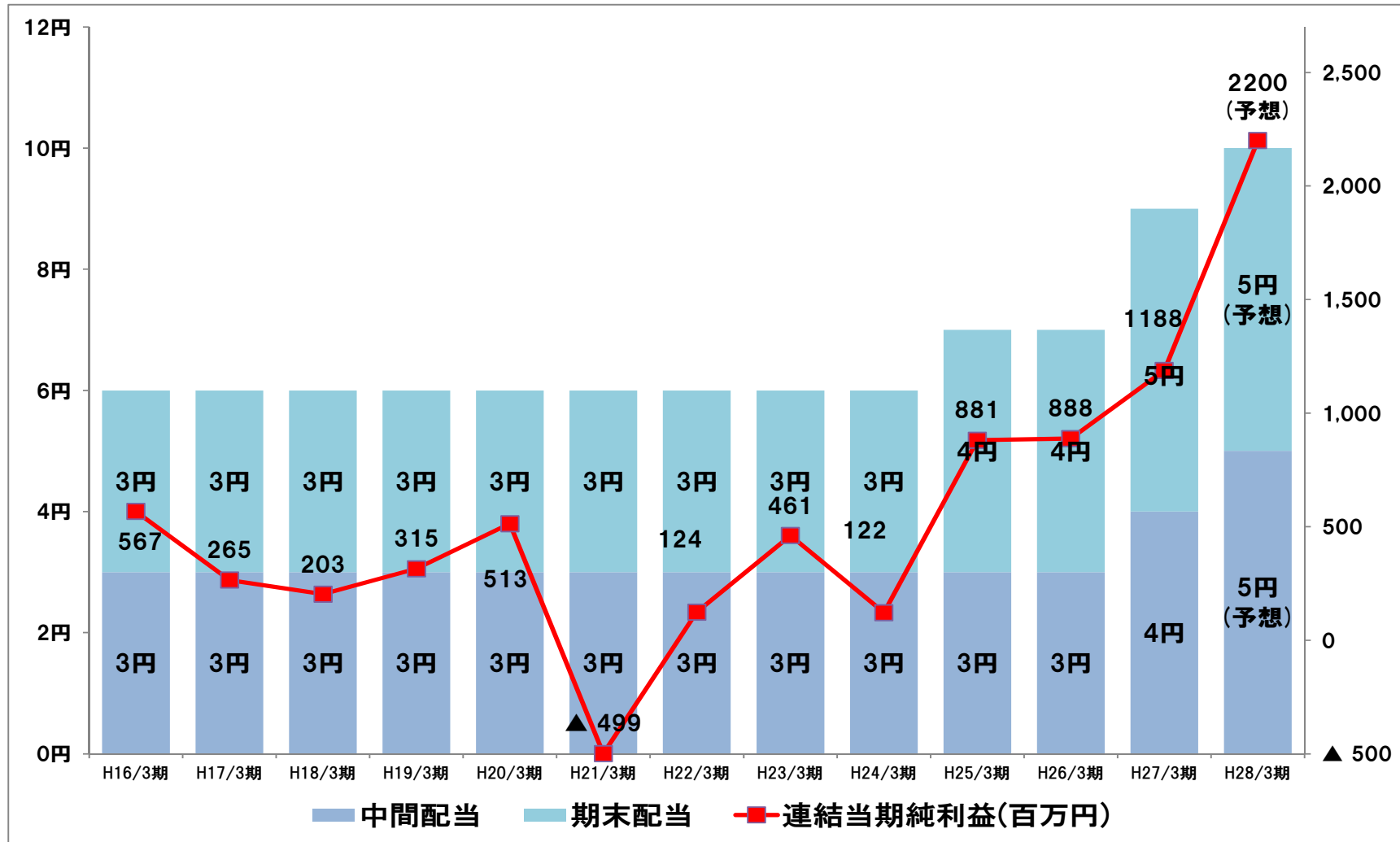
●破碎機が順調に売り上げを伸ばす

仮設機材は引き続き市場環境がよく堅調に推移。破碎機は企業が設備投資に積極的になってきたこともあり売上を大きく伸ばす。

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	前期比
売上高	1,023	995	▲28 (▲2.7%)
構成比率	8.9%	6.5%	▲3.5%
営業利益	63	47	▲15 (▲24.9%)
営業利益率	6.2%	4.7%	▲1.4%

株主還元 配当金





「人・地球・環境」への貢献

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。